

札幌慈啓会 法人ビジョン 2025

“ 人とつながる 未来へつなげる ”

～ ビジョンストーリー ～

「少子高齢化」、
誰もが直面する深刻な社会課題です。
この状況が続くと労働力人口は加速度的に減少し、
長時間労働の深刻化やワーク・ライフ・バランスが改善されないことにより、
福祉・医療のサポートを待つ高齢者が影響を受け、
その家族の負担増加に繋がり、
子育て世代が将来にわたる展望を描くことができない状態に陥ります。

創立 100 年を迎えた札幌慈啓会は、
これまで福祉・医療・保育において事業を拡大してきましたので、
プロフェッショナルであるという自覚を持って、
社会課題に向き合い、解決をリードしていきます。

「その人らしさ」を尊重し、思いを受け止め、
お互いに「ありがとう」と「笑顔」を交わせる毎日を提供します。
個人や地域の困りごとに情熱をもって向き合い、
札幌慈啓会が持つあらゆるサービスでご利用者様やご家族様の生活に寄り添い、
人生を彩り豊かにします。
未来に羽ばたく子ども達の心豊かな成長をご家族様と共に支えます。

“ 人とつながる 未来へつなげる ”

札幌慈啓会は、誰もが直面する課題と一緒に向き合い、
一人ひとりの心の豊かさがあふれる毎日を皆様と共に創っていきます。
そして、100 年過ごしてきたこの地域で人と人をつなぎ、
誰もが希望を持てる未来へとつないでまいります。

【ビジョンストーリーのコンセプト】

■ 法人ビジョンの作成に至る経過・必要性について

- ここ数年、法人会議や役員会において、我々の事業を取り巻く環境変化に対応するための方策などについて議論されている。
- 課題が山積している状況ではあるものの、我々のサポートを待っていただいている多くの方々のためにも、当然に事業継続・発展を目指し、社会貢献をしていく必要がある。
- 事業継続・発展には、役職員が共通認識を持ち、一体となって向かっていくための【ビジョン＝役職員みんなで目指せる共通の行先】が不可欠である。
- 法人理念【共生】のもと法人ビジョンを作成し、法人創立 100 周年を機にリリースすることで戦略的にもインパクトがある。

■ 法人ビジョンを効果的にリリースするために

- 「ストーリーブランド戦略＝【ものがたり】を活用するブランド戦略」を用いて、ビジョンに込めた思いにストーリーを纏うことで、相手にわかりやすく、独自性のある要素で他との差別化を図る。
- ビジョンストーリーを映像化して、いろいろな機会に発信することで、効果的なコミュニケーションができ、札幌慈啓会ファンになってもらえる可能性を高める。
- ものがたりのフローとしては、現在の世の中や法人を取り巻く社会状況、未来への懸念や社会課題を示す。そして、社会課題解決をリードする札幌慈啓会を登場させ、ビジョン作成の背景を説明する。
- 続いて、札幌慈啓会が進むべき方向、社会的責任、果たすべき役割等を説明する。
- 最後に、これからも地域と人を大切にして未来へ向かって「札幌慈啓会らしく」あり続けることへの「決意表明」という形で締めくくる。

■ ビジョンとミッションについて

- 「ミッション＝日々果たすべき使命」を遂行し続けた結果が、「ビジョン＝実現したい未来」になるという関係性であることから、ビジョンストーリーにミッションを入れ込む。
- 「世の中が抱えている課題はなにか」、「どのような価値を世の中に提供しているのか」などを議論して、ミッションワードを考察し、冗長になっては、メッセージ性が薄れるため、あえて3センテンスに分けて作成した。
 - ・ ミッション①：「その人らしさ」を尊重し、思いを受け止め、お互いに「ありがとう」と「笑顔」を交わせる毎日を提供します。
 - ➔ 「個人を尊重する」ということを絶対認識とし、当然に利用者と職員とは対等関係にあるので、相互に「ありがとうと言ひ合える」、「笑顔を交わし合える」情景を表現した。
 - ・ ミッション②：個人や地域の困りごとに情熱をもって向き合い、札幌慈啓会が持つあらゆるサービスでご利用者様やご家族様の生活に寄り添い、人生を彩り豊かにします。
 - ➔ 課題解決を成し遂げるといふ強い意志、「人生を彩り」でシルバーではないカラー感を表現した。
 - ・ ミッション③：未来に羽ばたく子ども達の心豊かな成長をご家族様と共に支えます。
 - ➔ たくさんの可能性を秘めている子供の成長を支え、未来で輝いて欲しいという思いを含め、保育について明確に意識した。
- 「人との関わり」、「地域との関わり」、「未来にむかっの取り組み」に絞り、人と地域については福祉・医療・保育を内包しての意味合いとした。